

所属	農学生命科学部	氏名	東 信行
課題名	食糧生産基盤としての里地・里山・里海生態系における生物学的生態系管理		

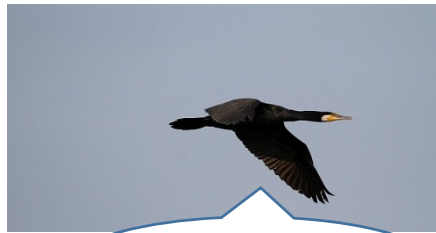
1. 概要

目的：食糧生産に被害を及ぼす有害生物や生態系を攪乱する外来生物の駆除や管理を行い、生産基盤の健全性を確保する。また有用生物の生態を明らかにし、自然な増殖を促す技術を確認する。

農業水利施設整備にかかる事業等において、希少種などの保全・管理を行う。

- 実施状況：①内水面漁業に被害を与えるカワウ（鳥類）の県内の分布状況や採餌生態について調査研究
 ②GPS 発信機装着による弘前市周辺のカラスの行動追跡と被害発生要因の調査
 ③リンゴ樹に被害を与えるハタネズミと捕食者であるフクロウの生態調査およびりんご農家との協働
 ④農業水利施設に関連する水圏及び農耕地生態系保全

(1) カワウ被害の拡大機構はコロニーの拡散。そのメカニズムを他種（アオサギ）コロニーとの関連から検証中。県内の分布と漁業被害の把握。



良さそうな場所見つけた



(2) りんご園のハタネズミとその被害。園地の被害低減効果を巣箱設置とともに検証。りんご園内の誘致巣箱で生まれたフクロウの雛

2. 画像の説明

(1) 図1 カワウ被害の拡大機構はコロニーの拡散。そのメカニズムを他種（アオサギ）コロニーとの関連から検証中。県内の分布と漁業被害の把握。

(2) 図2 りんご園のハタネズミとその被害。園地の被害低減効果を巣箱設置とともに検証。りんご園内の誘致巣箱で生まれたフクロウの雛